

電子回路分かりやすく

大牟田

有明高専 准教授ら第2版出版

大牟田市東萩尾町、有明工業高等専門学校創造工学科の准教授らが執筆した「図解入門 よくわかる最新電子回路の基本としくみ『第2版』」が発売された。LEDを光らせる仕組みなど身近にある電子回路について、初心者にも分かりやすく解説している。

第1版は2013年7月に発売され、同高専准教授の石川洋平さんが執筆。今回、新たに助教の野口卓朗さんが加わった。石川さんは野口さんが同高専3年次の担任で、今回が初の師弟合作。さらに同高専の情報電子回路研究室「ICLab」秘書・事務補佐の城門

寿美子さんも参加した。

電気回路(アナログ)と電子回路(デジタル)の違いなど基礎からやさしく解説。

今回、新たに野口さんがパソコンを使った電子回路シミュレーションについて執筆。城門さんは複雑だった周期表について読者の視点で提案し、重要な部分にフォーカスして作図した。

学校の授業のように15週で学ぶための手引きを取り入れた。雑談のコラムを多く掲載し、授業を受けているような雰囲気学ぶことができる。

3人は出版の喜びを語るとともに「書いている人が地域にいたることを知ってもらい、高専に親しみを持ってほしい」と話した。

定価は1760円(税込)。
Amazonや楽天ブックスといったインターネットサイトなどで購入できる。サポートページは<http://iclab.gr.ariake-nct.ac.jp/BOOKSUPPORT/>。

第2版に加筆した野口さん、城門さん、石川さん(左から)

